

あいち
de

ニューノーマル
新日常の選択肢

半農半Xな暮らし

半農半Xとは、「持続可能な農ある小さな暮らしをベースに、「天与の才」(X=天職、使命、生きがい、大好きなこと、ライフワークなど)を世に活かす生き方」。製造業が多く「ものづくり県」として有名な愛知県は、実は農業出荷額が全国8位と農業も盛んです。都市近郊でも自然豊かなあいちで、半農半Xを提案します。



半農半X研究所代表
塩見 直紀さん

総務省地域力創造アドバイザー

1965年京都府綾部市生まれ。京都市立芸術大学大学院美術研究科(メディアアート領域)博士後期課程単位取得退学。美術博士。90年代半ばごろより、21世紀の生き方、暮らし方として、「半農半X」コンセプトを提唱。著書共著に「半農半Xという生き方【完全版】」「半農半X~これまで・これから~」など。訳書は台湾、中国、韓国、ベトナムにもひろがる。めざすは「ことばで世界をデザイン」で、「1人1研究所社会」「天職観光」「Local AtoZ」も提唱。



URNS プロデューサー
堀口 正裕さん

URNSプロデューサー/
株式会社社会第一プログレス代表取締役社長/
総務省地域力創造アドバイザー

国土交通省 二地域居住等の推進に向けた有識者委員、地域づくり表彰審査委員等、地方創生に関連する各委員を務める他、地域活性事例に関する講演、テレビ・ラジオ出演多数、全国各自治体の移住施策に関わる。東日本大震災後、豊かな生き方の選択肢を多くの若者を知って欲しいとの思いから「URNS」を企画、創刊。地方の魅力は勿論、地方で働く、暮らす、関わり続ける為のヒントを発信している。プライベートでは、畑と合気道をこよよく愛する4児の父。

第2回

「さまざまな半農半X」

講演会 塩見 直紀氏「半農半Xとは？」
トークセッション 人それぞれが持つ様々なやりがいのある仕事、自分の好きなことを活かしつつ、農業にも関わっていく、新しいライフスタイルについて

定員:20名程
日時:2022年11月11日(金) 19:00~21:00(開場18:30)
場所:ウインクあいち 1210会議室
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38
アクセス WEB:<https://www.winc-aichi.jp/access/>
申込方法はコチラから▶▶▶



たはら暮らし定住・移住サポーター
DIESCaféオーナー
小川 史さん
農業×カフェ経営(田原市)



友人が住む田原市へサーフィン旅行をしたとき、豊かな環境に惚れて移住を決めました。カフェを経営しながら半農半Xを生活して、土づくりから商品化まで行った青唐辛子入りのボン酢しょうゆ「ペーニョボンズ」などを販売。農業は初めて取り組んだのですが、田原市は新規就農のサポートも手厚く、農業を始めやすい街だなと感じています。

藍染工房「紺屋のナミホ」
高岡 奈美帆さん
農業×染物工房(常滑市)



大学でファッションビジネスを学び、THE NORTH FACEに入社。26歳の頃にアパレルの仕事がきっかけでデニムやインディゴに興味を持つようになりました。27歳で都上にある藍染工房で3年修行。その後地元の見多半島へ戻って藍染めの原料づくりからすべて自分が手掛ける体験型の藍染工房「紺屋のナミホ」を2022年にOPENしました。

よろづシステムズ・ファームいなぶ営農組合
アウトドア・デンいなぶ
古橋 崇史さん
農業×エンジニア(豊田市)



高校卒業後、ITエンジニアを目指し故郷の稲武を離れるも36歳の時にUターン。「ITの仕事は都会でなくともできる」と、稲武にITエンジニアが集まる拠点を作るべく起業を決めました。現在はITエンジニアのキャリアを武器に「ファームいなぶ営農組合」やキャンプ場「アウトドアガーデンいなぶ」などいくつかの事業に携わっています。

第3回

「あいちで半農半DX」

講演会 塩見 直紀氏「半農半Xとは？」
トークセッション 新しい「農ある暮らし」として、ロボットやドローン、AI等、デジタル技術(DX)を活用した半農半X、スマート農業について

定員:20名程
日時:2022年12月10日(土) 15:00~17:00(開場14:30)
場所:なごのキャンパス コワーキングスペース
〒451-0042 愛知県名古屋市中区西区那古野2丁目14-1
アクセス WEB:<https://nagono-campus.jp/access/>
申込方法はコチラから▶▶▶



株式会社トクイテン
豊吉 隆一郎さん
農業×ロボット(名古屋)



1981年生まれ 岐阜県出身 岐阜工業高等専門学校でニューラルネットを学び卒業。2011年6月に株式会社Misocaを設立。クラウド請求管理サービス「Misoca(ミソカ)」は20万事業者以上が登録するサービスに成長。その後、会社をオックスグループ(弥生株式会社)へ売却、代表を退任。令和2年度 農業者育成支援研修に通い農業を学ぶ。2021年8月に株式会社トクイテンを創業。

CLOVER DRONE
野澤 成裕さん
農業×ドローン(岡崎市)



元岡崎市役所職員。2007年に愛知県西尾市から岡崎市額田地区に移住。高齢農業従事者が手動で農業散布を行うのは大変で、耕作をやめるといった声を聞く中、小麦、米、大豆といった作物の病害虫駆除のため、ドローンでの散布を行っています。

しもやまAI活用プロジェクト
梅本 正人さん
農業×画像認識AI(豊田市)



地域の人口減少に伴う、農家の担い手不足や負担増加を地域課題と捉え、省人化に役立つ技術開発や子どもを巻き込んだ活性化を狙った活動を行っています。まずは、農家にとって大きな負担となる有害鳥獣捕獲・駆除に画像認識AI技術を応用。豊田市の下山地区で農の見回りや捕獲の効率化に関する実証実験を実施しています。

お問合せ先

愛知県農業水産局農政部農業振興課 農村対策グループ

TEL 052-954-6406 <https://www.pref.aichi.jp/nousei/hannou/index.html>

